

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	予防接種事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	健康増進課			
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	伊原 理香			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	接種時において住民登録者であり、予防接種法施行令で定める者	意図	感染症の発生および蔓延を予防するために予防接種を行い、公衆衛生の向上及び、健康増進に寄与する。
事業内容	予防接種法第5条1項の規定により実施する予防接種（A類：B型肝炎・Hib感染症・小児の肺炎球菌感染症・不活化ポリオ・四種混合・結核・麻しん風しん混合・麻しん単独・風しん単独・水痘・日本脳炎・二種混合・ヒトパピローマウイルス感染症）（B類：高齢者インフルエンザ・高齢者の肺炎球菌感染症）を契約医療機関にて個別接種する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成28年10月、B型肝炎を定期接種に追加。風疹流行に対し、平成30年8月～3月に緊急で風しん予防接種費用助成を開始。同年11月より、麻疹の市内発生に対し2歳～中学3年生までのMR未接種者に全額公費での麻しん緊急任意予防接種を開始。平成31年1月、高齢者の肺炎球菌感染症の65歳以上の経過措置について5年間の延長が決定。平成31年2月、風しんの流行に伴い、全国統一クーポン券方式による風しん抗体検査・第5期定期接種（3年間限定）が追加。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	接種率【A類：麻しん・風しん1期】	101.90	98.80	99.20	%	↑↑↑	平成25年度よりMR1期の接種率を指標とする。
②	接種率【A類：麻しん・風しん2期】	96.80	97.30	97.60	%	↑↑↑	平成25年度よりMR2期の接種率を指標とする。	
③	接種率【B類：高齢者インフルエンザ】	45.80	40	42.50	%	↑↑↑		
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 麻しん・風しん2期の接種率向上を目指し、接種勧奨はがきを4月に送付。麻しんの管内発生に伴い、10月に未接種者への電話、はがきにて接種勧奨実施。1歳誕生月にMR1期勧奨はがきを毎月送付。麻しんの市内発生段階で、2歳から中学3年生までのMR未接種者に対し、麻しん緊急任意予防接種を実施。学校と連携して接種につなげた。秋に実施される就学児健診時に保健師によるMR接種勧奨を実施。それでも未接種の方（1月時点で接種率92.6%）に、再度の接種勧奨はがきを送付。小学校6年生には、DT2期や日本脳炎の接種勧奨の案内を小学校を通じて配布した。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		532,078,010	556,757,746	616,839,940				
事業費(b)(円)		516,684,610	544,787,646	597,517,780				
うち一般財源		516,684,610	544,787,646	597,517,780				
職員給与費(c)(円)		15,393,400	11,970,100	19,322,160				
人役・職員(人)		1.90	1.60	2.00				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		2.10	1.10	4.52				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	高齢者の肺炎球菌感染症の5年間の経過措置がH30で終了となることについてあらゆる機会での周知を実施する。安全で適切な接種、接種率の確保に努める。	③取組における課題(Check)	麻しんの市内発生、風しん流行により、緊急的な予防接種事業の立案、実施につなげることができた。風しん抗体検査・第5期定期接種の着実な実施をし、受診率と接種率の向上に努める。
②H30に実施した取組(Do)	緊急的に風しん予防接種費用助成と麻しん緊急任意予防接種を実施。高齢者肺炎球菌感染症の延長決定に伴い、広報等で周知。風しん第5期定期接種開始によりクーポン券作成準備をした。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	風しん抗体検査・第5期定期接種のクーポン券方式の着実な実施のため、市民へ周知を図り、市内医療機関等との連携を密にする。定期接種の安全で適切な実施と接種率の確保に努める。